

## 市営球場・市営北グラウンド

### 利活用について

公明党  
勲

**問** (1)市営野球場改修が終了してからの利用の状況について、(2)北海道日本ハムファイターズ2軍戦誘致における教育委員会の取組みについて、(3)市営北グラウンドのグラウンドに向かう通路に法面を通っていて転んだりしているのは、法面の整備について要望されていることについて、伺います。

**答** (1)平成30年9月22日、改修後のこけら落としで、北海道日本ハムファイターズの野球教室、10月は全日本少年軟式野球北海道予選会、令和に入り5月は春の高校野球空知支部予選大会、8月には北海道日本ハムファイターズ稲葉SCO野球教室等に利用されました。(2)2軍公式戦開催に向けて平成29年4月と平成30年5月の2度にわたり、球団事務所を訪問し、要請して平成30年9月及び10月には、日本ハム球団関係者が改修後の市営野球場を視察に来ました。(3)この法面は、駐車場に接続している道路とグラウンドの高低差が

大きく、急こう配で転落防止の鉄柵を施しているのですが、整備の考えはなく、現在の通路を利用することでご理解願います。

**問** 2軍戦の開催を要請した手応えについて伺います。

**答** 昨年視察に来た際に2軍戦の話をしたところ、広さについては公認規格であるが、本部席や防球ネットなどの構造、設備等に懸念があり厳しいということでした。

この野球場は、市民球場として使えるものは使うという形で改修しているのですが、現構造では球団の意向に沿わず開催はできません。



稲葉篤紀さん野球教室(市営球場)

## 林業振興対策について

日本共産党  
高田 浩子

**問** 森林経営管理法と国有林野管理経営法が改正されたが、「森林環境税」、「森林環境譲与税」創設の経緯・目的と、それに伴う森林整備資金の市への交付額とその具体的な活用方法について伺います。

**答** 森林整備等の地方財源の確保、森林の経営管理の責務を明確化することを目的として改正されました。今年度は、私有林の現況調査と森林所有者の意向調査を実施し、次年度には調査を元に、所有者の追跡調査、森林整備の検討を行います。また、安定的に事業を行うため、森林環境譲与税の一部を基金に積み立てるとともに、そちら森林組合に協力を求めながら、「未来につなぐ森づくり推進事業」も活用しながら林業振興を推進していきます。

市における中学卒業までの医療費無料化の拡充について伺います。

**答** 市において、乳幼児等医療費の助成については、平成24年8月より就学前の医療費の自己負担分を全て無料化してきました。現在、多くの市区町村で都道府県の補助基準より対象年齢を拡大する傾向で、少子化対策の一環として、支援を一層推進する必要があると考えます。しかし、財源確保の問題など慎重に判断し、国全体として取り組むべき課題であると認識し、今後も継続して制度拡充の要望を行っていきます。

### 子どもの医療費無料化 制度拡充について

**問** 全国の地方自治体で、子どもの医療費の助成が進んでいます。

子どもの医療費

林業振興対策



## 児童玄関前防犯カメラの設置について

創生会  
多比良和伸

**問** 昨今、学校周辺における凶悪犯罪が散見されます。犯罪の抑制、不審者対策、保護者の不安解消のため、児童玄関に防犯カメラを設置する考えがないか伺います。

**答** 不審者情報については、今年度8月末までに29件、うち市内では1件発生しています。川崎市でも児童殺傷事件が発生しており、児童生徒の安全確保の重要性は増してきています。防犯カメラの設置については、不審者の侵入抑止に効果が期待されますが、プライバシーについても考慮する必要があります。そのため、総合的な観点で必要性を検討したいと考えています。

## 教育費の保護者負担軽減について

**問** 校外学習の際のバス料金を現在保護者が負担しています。また、学習費として、1月、5月、9月に徴収があり、多子世帯にとつては大きな負担になっています。教育予算を増やし、バス経費へ

補助や学習費など、保護者の負担を軽減できないのか伺います。

**答** バスの経費については、修学旅行を含め、道立学校の教育活動費に係る公費・私費負担区分基準では私費に区分されています。また、学習費についても、学習教材等個人で所有し、その成果物が個人に還元されることから、バス同様私費に区分されます。公費の支出については、要保護世帯等の一部としていますが、今後、保護者負担の状況を考慮しながら軽減することができると検討したいと考えています。



## 砂川市立病院のあり方について

市民の声  
小黒 弘

**問** 市立病院の広報誌「ひまわり2019夏号」に『砂川市立病院は、患者集中と医師不足により医師の過重労働という深刻な状態が表れています。医師数を増やすことが困難である以上、当院では外来患者数を減らすしか方法がない、という結論に至りました。』と掲載されています。

**答** 特に内科、循環器内科、整形外科などは1日平均患者数が100人を超えているため、医師の負担を軽減させたいと考えています。

**問** 外来患者数を減らすにはどうしようと考えているのか伺います。

**答** 病院としては、急性期を脱した方や軽い症状の方などは、かかりつけ医で受診していただき、手術が必要な患者さんや、がんの治療、精密な検査が必要な方などを当院で診ていくという方針です。

また、かかりつけ医に逆紹介する場合、中空知医療圏外の方、か

かりつけ医が多くいる地域の方に協力をお願いしたい。砂川市内の方は、市内に診療科がある場合は逆紹介もあり得ますが、市内に診療科がない場合は『よその街に行ってください。』とは考えていません。

**問** 外来患者数の減少は経営を悪化させることにならないのか伺います。

**答** 定期的な検査や精密な検査の実施、重症な患者さんなどを診ていくことから、診療単価が上がることになり、収益の減少は抑えられると考えています。

